

介護ロボット・ICTの導入支援 について

令和4年9月

茨城県長寿福祉課介護保険指導・監査G



(1) 介護現場における介護ロボットと ICTの活用について



介護ロボット・ICTとは？

●介護ロボット

※次のいずれかの場面で使用する、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器

- ①移乗介護 ②移動支援 ③排せつ支援 ④見守り・コミュニケーション
- ⑤入浴支援 ⑥介護業務支援

例) パワーアシストスーツ、離床感知センサーマット、排せつ予測センサー、入浴支援機器 等々…



●ICT機器

- ・記録から請求まで業務を一括で行える介護ソフト、システム
- ・記録用、情報共有用のタブレット・スマートフォン

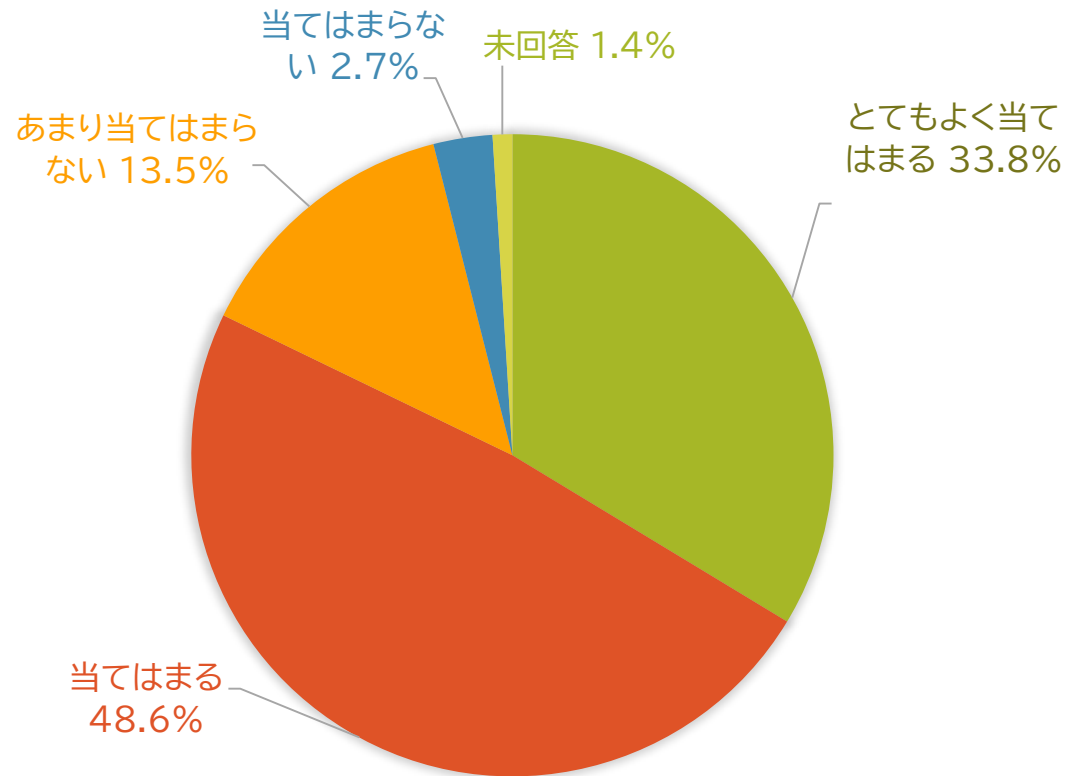


⇒職員の身体的・精神的な負担の軽減、業務の短縮・効率化への期待

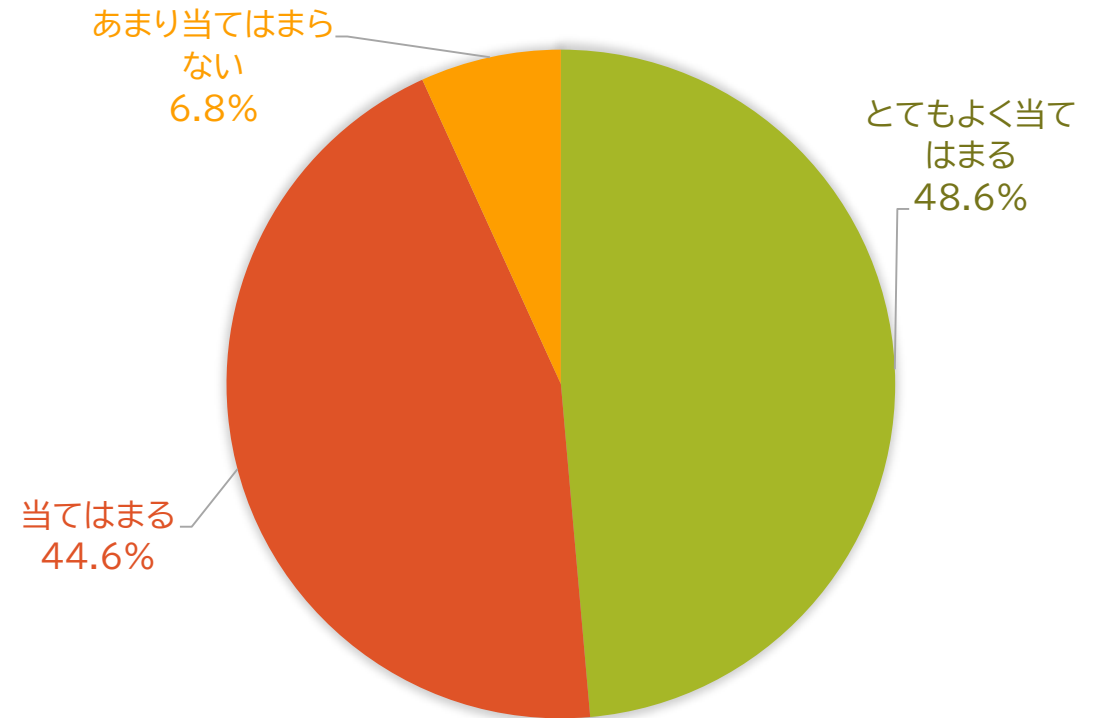


機器の活用効果①(介護ロボット)

(1)業務時間の削減、効率化が達成できた



(2)職員の身体的、精神的な負担軽減につながった

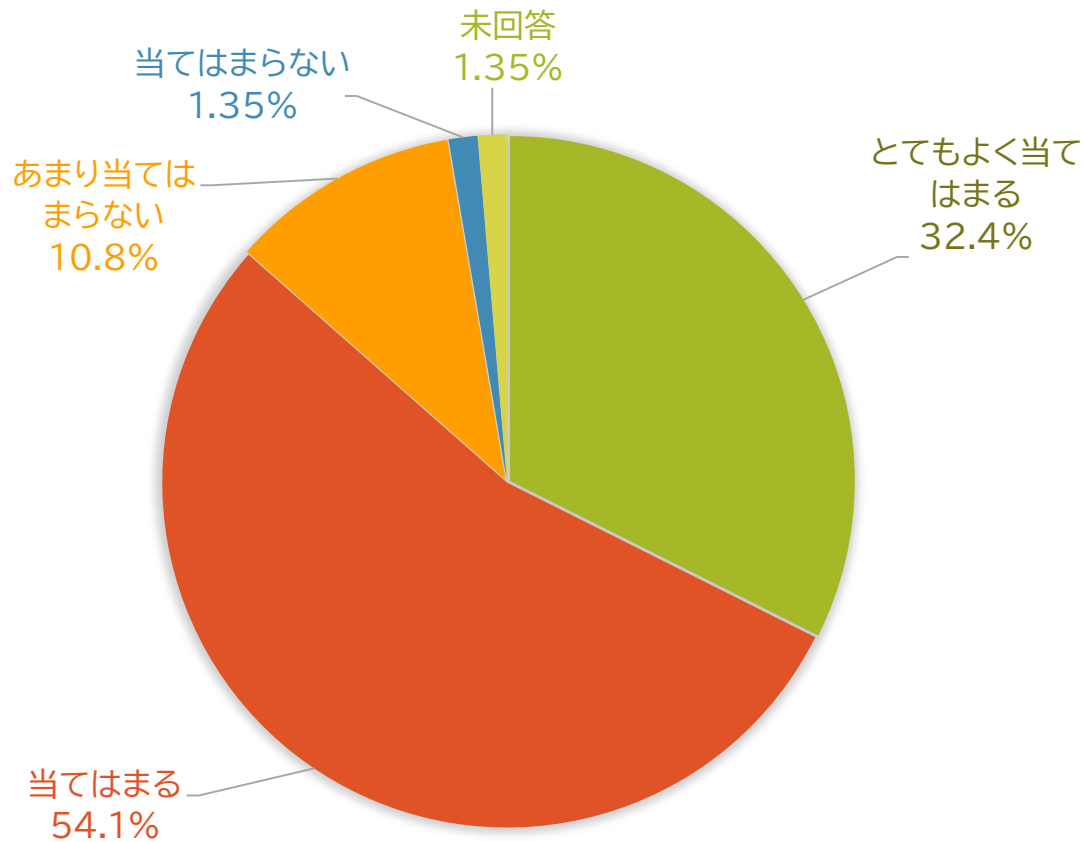


◆R4の使用実績報告書より(H30～R2に導入した54事業所の報告まとめ)

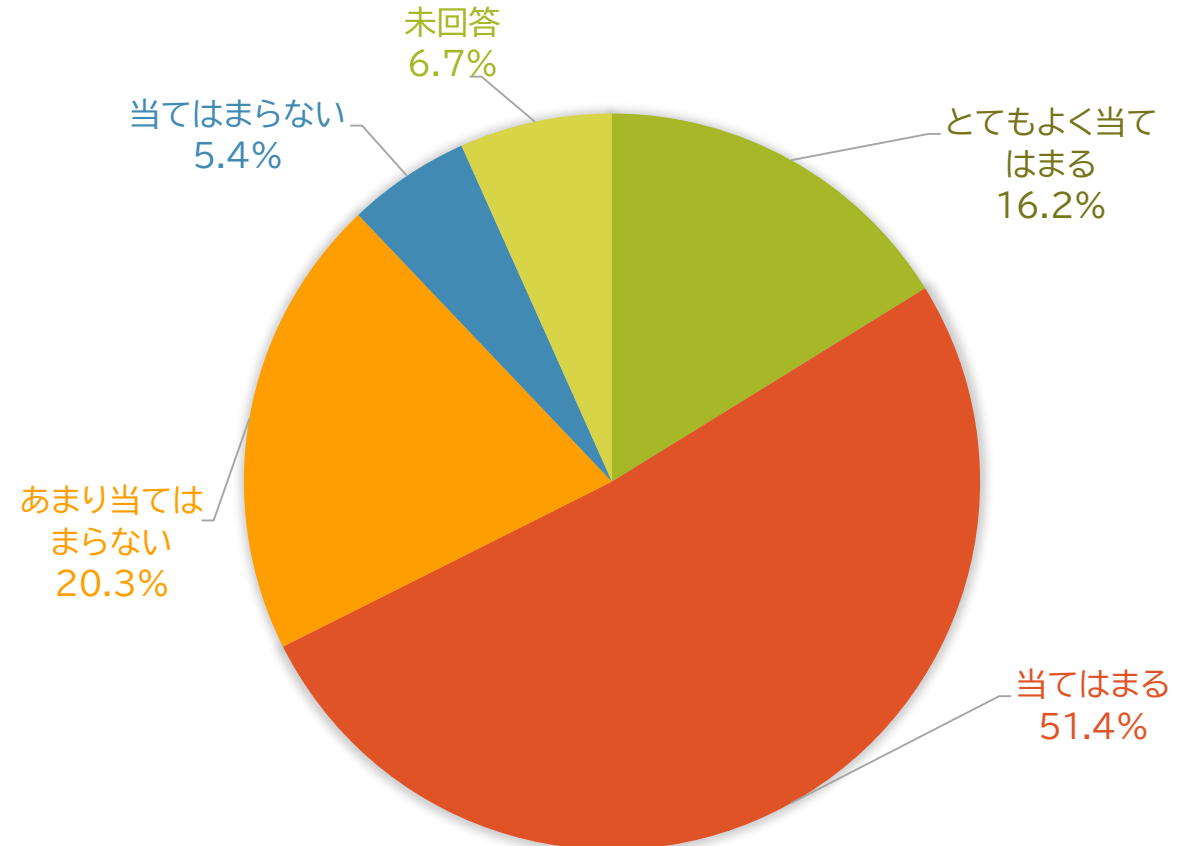


機器の活用効果②(介護ロボット)

(3)利用者のケア向上につながった



(4)職場環境が改善されたと感じる



◆R4の使用実績報告書より(H30～R2に導入した54事業所の報告まとめ)



機器の活用効果③(ICT)

機器導入後の主な効果	回答数
記録業務が効率的に行えようになり、事務作業の軽減や時間の短縮等に繋がった。	32
事業所内、他事業所間の情報共有がしやすくなった。(外出先でも行える、リアルタイムで情報共有できるなど)	23
記録の管理や閲覧が楽になった。	14
提供サービスやパフォーマンスの向上、均質的なサービスが行えるようになった。	9
記録や請求業務のミスや情報の伝達漏れが防げた、少なくなった。	6

◆R3に導入した43事業所の実績報告より



現場における活用事例①

●介護ロボット（取材協力:特別養護老人ホーム アクティブハートさかど）

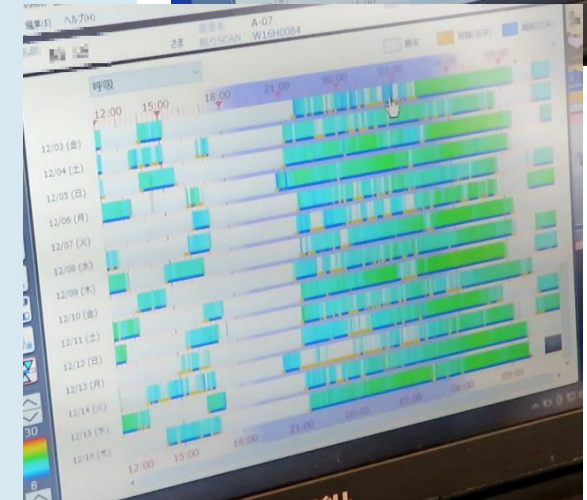
■ 導入機器 マットレスの下に敷くマット式の見守りセンサー

■ 主な機能

- 入居者の離床、睡眠状況、心拍数、呼吸数が把握可能。
- 離床状況等はパソコン画面で確認する。
- アラームの鳴るタイミングを利用者ごとに設定可能。

■ 活用状況、効果等

- 睡眠状況や呼吸状況が色分けして表示されるため、一目で分かりやすい。
- 夜間のおむつ替えやトイレの付き添いで、利用者を無理やり起こす必要が無い。
- 過去のデータが残るため、医師への説明資料としても提供可能。
- 個々の生活リズムに合わせたサービスが提供できるようになった。
⇒ ユニットケアに効果的。



現場における活用事例②

●ICT機器 (取材協力:特別養護老人ホーム あかねサクラ館)

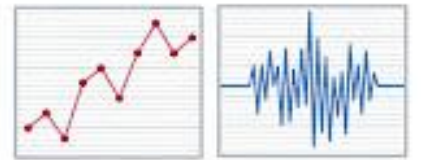
■ 導入機器 介護ソフト、タブレット

■ 主な機能

- ▶ 介護記録から請求業務まで一括で行うことができる。
- ▶ タブレット、パソコンに介護ソフトをインストールして使用する。
- ▶ タブレットで入力した内容が、転記不要でパソコンに連携される。

■ 活用状況、効果

- ▶ タブレットによる入力作業で介護記録業務が楽になった。(若い職員には使いやすい。)
- ▶ 過去の記録を簡単に遡ることができる。
- ▶ 直近の状況(食事や排せつ等)をグラフ化し、医師への説明資料にすることもできる。
- ▶ 紙の記録と電子の記録を用途によって使い分けている。(業務中に一瞬だけ確認したい時などは、紙の方が便利。)



介護ロボット・ICTの活用について(まとめ)

●「人材確保」という視点から

- 介護ロボットもICTも職員の負担軽減として大いに期待できる
 - ・機械に任せられる仕事は機械に
 - ・業務の効率化、ケアの向上への期待
 - 新規参入のきっかけになる
 - ・タブレット入力
 - ・色の違いで利用者の状況が分かる見守りセンサー
- ⇒ 新規職員にも分かりやすい

●効果的に導入・活用するには

- 現場の意見が重要
 - ・現場が本当に必要としているものは？（問題の可視化）
 - ・経営層・現場間での意見交換
- 計画を立てる、目標の明確化
 - ・プロジェクトリーダー、委員会の設置
 - ・問題に対する機器を使った解決方法の模索
 - ・職員への研修、業務フローの見直し
 - ・段階的な計画

●従来のやり方との共存

- すべてをデジタル化すれば良いわけではない
 - ・ベテラン職員の経験則も大事
 - ・アナログな方法が良い時も
 - ・機器に慣れない職員もいる



従来の介護現場でのやり方をベースに、徐々にICTやロボットを用いた方法を取り入れていく



(2) 茨城県における補助事業

□ロボット介護機器普及支援事業(H27~)
□ICT導入支援事業(R3~)



補助事業(概要)

	ロボット介護機器普及支援事業 (H27~)	ICT導入支援事業 (R3~)
交付先	茨城県内で介護保険サービスを行う施設・事業所	
補助率	2分の1	
補助上限額	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>介護ロボット</u> 1台につき 30万円 ●<u>見守り機器導入に伴う通信環境整備費</u> 1事業所につき 750万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>職員数(常勤換算)による</u> ・ 1~10人 100万円 ・ 11~20人 160万円 ・ 21~30人 200万円 ・ 31人~ 260万円

※令和4年度事業の概要



県内の補助実績

- ◆ロボット介護機器普及支援事業(H27~R3)
- ◆ICT導入支援事業(R3)

(事業所・施設数)

サービス種別		ロボット	ICT
入所	特別養護老人ホーム（地密含む）	80	12
	介護老人保健施設	29	11
	短期入所生活介護	6	
	特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）	6	2
	介護療養型	2	
居宅	通所系サービス	5	8
	訪問系サービス		6
	貸与・販売		1
地密	認知症高齢者グループホーム	5	
	小規模多機能・複合型サービス	4	
	居宅介護支援事業所		3
	計	137	43

目的要件別内訳（※ロボットのみ）		台数
目的要件	移乗介護	68
	移動支援	1
	排せつ支援	10
	見守り	915
	コミュニケーション	9
	入浴支援	2
	介護業務支援	1
	計	1,006



補助事業の流れ

【県】

①その年の事業要項の
発表、事業所への募集

④受付・審査
採択/不採択の決定
⇒内示の送付

⑥申請書の審査
交付決定通知

⑨実績報告の審査
額の確定通知

②導入計画の作成
・課題の発見
・目標の設定
・業務フローの見直し

③事前協議書の
作成、提出

⑤交付申請書等
の作成、提出

⑦事業開始
・発注⇒納品⇒支払い
・導入後の効果を測定

⑧実績報告の作成、
提出

【事業所】

導入後…

ロボットは3年間、ICTは2年間、使用状況報告を提出



介護ロボット・ICTに関するお知らせ①

◆「介護ロボットの試用貸出リスト(概要版)」について (埼玉県社会福祉協議会主催)

ロボット介護機器とICT機器の導入支援事業について

- 令和4年度茨城県ロボット介護機器普及支援事業及びICT導入支援事業の実施について

[→こちら](#)

※ 令和4年度補助金事業の募集は終了いたしました。

- 令和3年度茨城県ロボット介護機器普及支援事業及びICT導入支援事業の実績報告について

[→こちら](#)

- ロボット介護機器導入後3年間の使用状況報告について

[→こちら](#)

- ロボット介護機器・ICT機器に関する連絡事項等

【R4.9.20更新】「介護ロボットの紹介と解説」及び「試用貸出リスト(概要版)」について

[→こちら](#)

ロボット介護機器・ICT機器に関する連絡事項等

- 「介護ロボットの紹介と解説」及び「試用貸出リスト(概要版)」について(埼玉県社会福祉協議会主催) **【R4.9.20更新】**

厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及プラットフォーム事業(以下「介護ロボット事業」)で設置していただく相談窓口である埼玉県社会福祉協議会より、標題についてご案内がありました。

介護ロボットの導入をご検討されております施設・事業所におかれましては、是非ご活用いただければと思

- [PDF 介護事業者向けセミナーチラシ \(PDF: 417KB\)](#)
- [PDF 試用貸出リスト \(R4年概要版\) \(PDF: 1,576KB\)](#)

【本件のお問い合わせ先】

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館

(厚生労働省「介護ロボット事業」相談窓口)

TEL: 048-822-1195 FAX: 048-822-1426

E-mail: smilekan@fukushi-saitama.or.jp

介護ロボット・ICTに関するお知らせ②

◆ICT 導入セミナー公開(YouTube チャンネル) (厚生労働省)

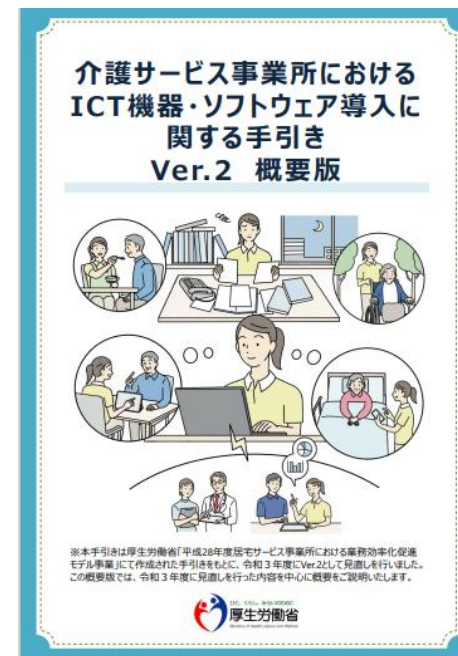
The screenshot shows the homepage of the Ministry of Health, Labour and Welfare. The main navigation bar includes links for 'Home', 'Search', 'Thematic Search', 'News & Information', 'About the Ministry', 'Statistics & White Papers', 'Regulations', and 'Applications, Recruitment, Information Disclosure'. The breadcrumb trail indicates the path: Home > About > Information & News > News & Information > News & Information > Promotion of ICT Use in Care Settings. The main heading is 'Promotion of ICT Use in Care Settings'. Below it, a red oval highlights the link '【介護事業所におけるICTの導入・普及セミナー】' (ICT Introduction and普及 Seminars in Care Settings), with a red arrow pointing to it. Below the link, there is a 'YouTube Playlist' section and a 'Seminar Content' section. At the bottom, there is an illustration of three people (two women and one man) using laptops.

(厚生労働省ホームページより)

◆介護サービス事業所における ICT 機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.2 (厚生労働省)



・ 本体 (118 p)



・ 概要版 (7 p)



ご視聴ありがとうございました。

